

ムーミンの世界

菊田瑛子



皆さんは本学付属図書館の主題別書誌データベースをご存知でしょうか。本学付属図書館のホームページにはテーマ・キーワード別に作成された独自のデータベースがあります。また、「本学図書館が作成したすべての主題別書誌データベース」のところをクリックすると、授業対応関連、就職・資格取得関連などカテゴリ別に役立つデータベースが数多く記載されています。今回はその中でも世界文学関連から、「ムーミンの世界」を紹介したいと思います。

原作の小説・漫画をはじめ今では絵本やアニメーション、キャラクターグッズを通じて幅広い年代の人々に愛されている「ムーミン」。日本では特にアニメーション、絵本により子供向けのイメージが強く、フィンランドでも児童向けという体裁をとっている作品ですが、実は初期の作品は第二次世界大戦中・戦後に執筆されたため洪水や彗星の襲撃などの自然災害についても描かれていたりします。ちなみに、著者であるトーベ・マリカ・ヤンソンはデータベースの「世界を感動させた作家たち」のフィンランド作家一覧にも記載されています。

第5作目である『ムーミン谷の夏まつり』には次のようなセリフが出てきます。

「死んだら、死んだのよ」トゥーティッキが、

やさしくさとしました。「このリスは、そのうち、土にかえるでしょ。やがて、その土から木がのびて、その木の上で新しいリスがはねまわるわ。それが、そんなに、悲しいことだって思う？」

この一場面を抜粋しただけでもとても児童向けとは思えない、奥深い作品であることがうかがえます。大人になった今こそ、ゆっくりと読み返したくなる作品です。普段、グッズなどで見かけるかわいいムーミンの姿とはまた一味違った意外な一面を見ることができます。小説・絵本を読んだ方、まだ読んでいない方はもちろん、とにかく、ムーミンの世界観だけでも知りたい！という方には『ようこそ！ムーミン谷へ：ムーミン谷博物館コレクション』や『ムーミン谷の名言集』といった関連書もおすすめします。小説・絵本だけでなくこういったムーミン・著者であるトーベ・ヤンソンに関する研究書もデータベースから簡単に検索することができます。

この機会に学校はもちろん、ご自宅のパソコンからもアクセスできるので図書館を利用する際には是非活用してみてください。

きくた ようこ（英米語学科4年次生）

